

報道関係各位

SC販売統計調査報告2015年10月 既存SC前年比：+2.8%（4ヶ月連続プラス）
集客イベント（ハロウィーン他）やリニューアル効果、インバウンド増加が売上プラスに寄与

＜全体概況＞

10月のSC販売額は前年同月比+2.8%と4ヶ月連続でプラスとなった。サンプル数は500SC。昨年に比べ土曜日が1日多かったほか、比較的穏やかな気候も売上増につながった。

立地別では、周辺地域(+4.5%)、中心地域の大都市(+3.3%)が牽引した。

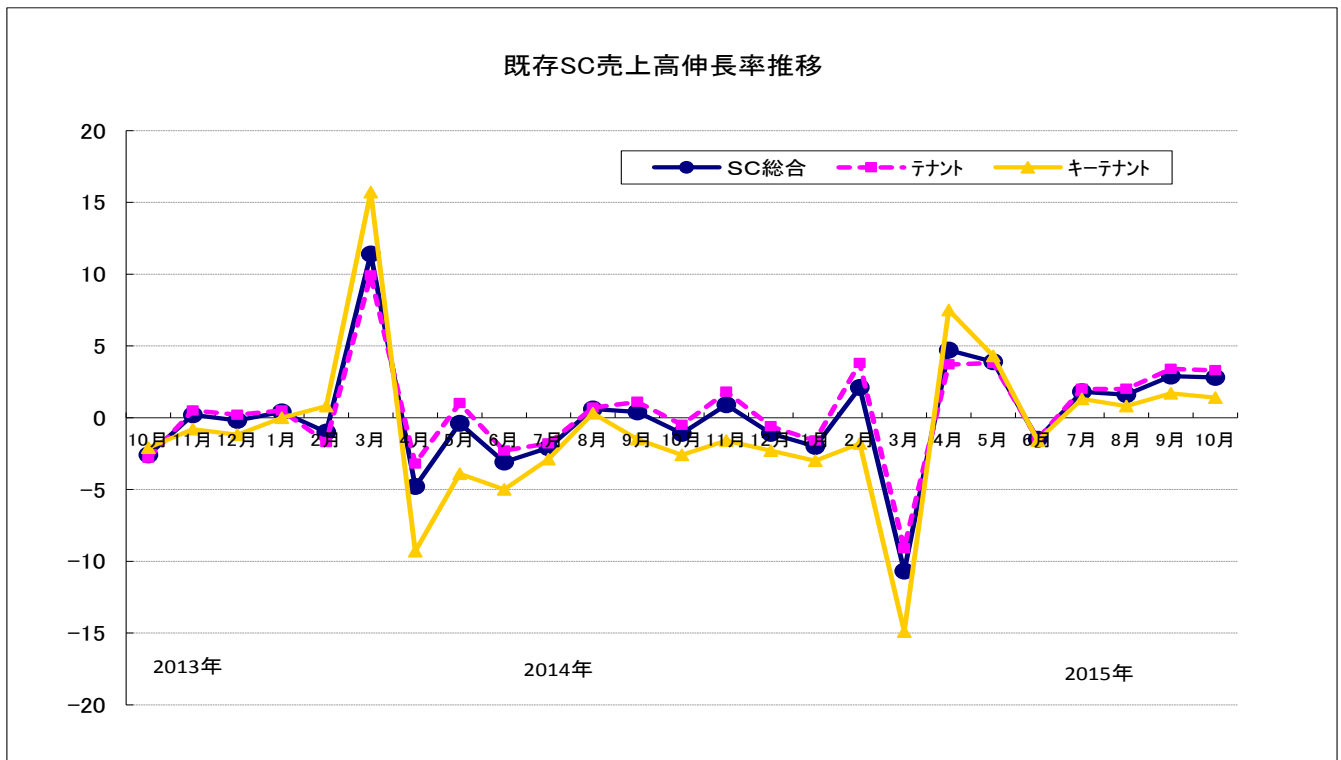
地域別では9地域のうち8地域がプラスとなり、なかでも中部(+6.5%)、北海道(+4.8%)、九州・沖縄(+3.0%)と、3地域が高い伸びを示した。

全体の好調要因としては集客イベント効果を挙げるSCが多かった。ライフスタイルイベントとして定着したハロウィーンがSCのイベントとしても集客効果を上げ、売上げプラスの理由に挙げた施設が目立った。また、リニューアル等により旬のテナントを導入した効果も挙げられた。このほか、大都市を中心にインバウンド（訪日外国人）売上げを伸ばしたSCも多い。

好調業種として、テナントは飲食、キーテナントは生鮮食品を挙げたSCが多かった。一方で、不振といわれている婦人ファッションだが、10月は秋物を中心に比較的順調であったという施設が増えた。

＜トピックス＞

北陸の周辺地域が+20.2%と二桁の伸びを示したように北陸新幹線効果が続いている。また、大都市のSCを中心として、中国の国慶節休暇（10月1日～7日）期間のインバウンド客増加も売上げ好調の要因となっており、福岡市（8.7%）ではインバウンドだけでなくプロ野球ホークスの日本シリーズ優勝セールの効果も売上プラスに寄与した。



以上
この件に関するお問い合わせは 情報企画部：今井・原田
TEL: 03-3536-8121

※お手数をおかけ致しますが、掲載紙・誌をお送りください。掲載部分をファクシミリにてお送りいただいても結構です。

